

景観、文化財に関する発展的資料。より詳しく学習したい人向け。

このリストに掲載されている資料は、授業期間中は**人文科学図書館 ラーニングコモンズ**で利用できます。(一部他館にしか所蔵がないものもあります)

実際に読んだもの／利用したものにはチェックをつけましょう。

文化的景観、歴史的町並み

- 都市の文化と景観 / 採掘・製造、流通・往来及び居住に関連する文化的景観の保護に関する調査研究会編 同成社 2010
文化的景観は近代化のなかで残されてきた景観の保護を目的としています。当初、農林水産関係から始まりましたが、都市や産業遺産に関わる景観も、保護の視野に入れられています。
[人文科学図書館KULiP(ラーニングコモンズ) 709-1-TOS]
- 日本の文化的景観：農林水産業に関連する文化的景観の保護に関する調査研究報告書 / 文化庁文化財部記念物課監修 同成社 2005
文化的景観は近代化のなかで残されてきた景観の保護を目的としています。特に変化の著しい農林水産業を中心に、法改正にあたってまとめられた調査報告。
[人文科学図書館KULiP(ラーニングコモンズ) 709-1-NIH]
- 芦屋の和洋館よとわに：阪神間モダニズムの興亡と継承 / 福嶋忠嗣著；芦屋洋館建築研究会編 澁標 2015
住宅地で知られる芦屋には、近代の趣ある和洋館がかつて沢山ありました。消えゆく建物を惜しみ、その建築を記録しています。
[他に 自然科学図書館2F開架室 521-8-386]
- 異人館のあるまち神戸：北野・山本地区伝統的建造物群調査報告 / 奈良国立文化財研究所, 神戸市教育委員会編 神戸市 1982
神戸の異人館は、伝統的建造物群保存地区という文化財でもあります。本書は選定に至る基本事項をまとめた報告書です。
[人文科学図書館KULiP(ラーニングコモンズ) 521-6-IZI]
- 景観法と景観まちづくり / 日本建築学会編 学芸出版社 2005
景観法の制定を受けて、自治体などが取り組む「まちづくり」について、課題と各地の事例をまとめています。建築の視点が主ですが、文化的景観は景観法にもよっており、参照すべき所があります。
[自然科学図書館2F開架室 518-8-845]
- 歴史まちづくり法ハンドブック / 歴史まちづくり法研究会編集 ぎょうせい 2009
歴史まちづくり、という「まちづくり」に歴史文化を取り込んだ取り組みを国が支援するようになりました。法制度を紹介し、各地の事例を引用しながらどう活用したらいいかを述べているハンドブックです。
[自然科学図書館開架参考 518-8-1035]

- 異人館のあるまち神戸：北野・山本地区伝統的建造物群調査概要 / 奈良国立文化財研究所, 神戸市編 神戸市教育委員会 1976

神戸の異人館は、伝統的建造物群保存地区という文化財でもあります。本書は選定に至る報告書の概要版です。

[準備中]

- 真壁の町並み：伝統的建造物群保存対策調査報告書 / 河東義之, 藤川昌樹編集 茨城県桜川市教育委員会 2006

伝統的建造物群保存地区の事例は全国に多数あります。茨城県の真壁に残る近世近代の町並み保存の報告書。真壁は2011年の東日本大震災で被災し復興途上にあります。

[人文科学図書館KULiP(ラーニングcommons) 521-8-MAK]

- 棚田保全の歩み：文化的景観と棚田オーナー制度 / 中島峰広著 古今書院 2015

日本の文化的景観の代表格に棚田があります。斜面に広がる階段状の棚田の多くは、農村部で存続の危機にあります。棚田保全の取り組みを紹介、検討しています。

[自然科学図書館2F開架室 611-7-233]

- 棚田の自然景観と文化景観 / 春山成子編著 農林統計協会 2004

文化的景観に選定される例も多い棚田。その棚田を文化、自然の各方面から掘り下げ、棚田を守り伝える意義を追究しています。

[国際文化学図書館開架室 616-2-H]

- 水と世界遺産：景観・環境・暮らしをめぐる / 秋道智彌編 小学館 2007

水をキーワードに、世界遺産が抱える自然保護、観光、住民とのあつれきといった課題を取りあげ、世界遺産と環境や暮らしとの関わりを見つめています。

[国際文化学図書館開架室 709-0-A]

- 文化的景観を評価する：世界遺産富山県五箇山合掌造り集落の事例 / 垣内恵美子著 水曜社 2012

『文化財の価値を評価する』に続き、文化的景観について、観光や地域振興との関わりから評価方法を検討しています。

[国際文化学図書館開架室 709-1-K]

- 中国の歴史都市：これからの景観保存と町並みの再生へ / 大西國太郎, 朱自煊編 ; 井上直美監訳 鹿島出版会 2001

日中共同調査により、中国の歴史都市について、都市の日常生活から景観保存や町並みの修復までを詳しく知ることができます。

[社会科学系図書館書庫 6-3-7790]

- 歴史的景観とまちづくり / 西山卯三著 都市文化社 1990

歴史的景観を文化財と捉える立場から、日本各地の歴史的な町並みや建造物の保存活用例をたどり、成功・失敗例からまちづくりのあり方を問いかけています。

[人間科学系図書館書庫 318.7-3]

- 建築遺産の保存その歴史と現在 / ユッカ・ヨキレット著 ; 秋枝ユミイザベル訳 アルヒーフ 2005
歴史的な建造物が、地域社会によってどのように扱われ、破壊や保存の経緯をたどって来たのか。ヨーロッパを例に、建築遺産の変遷を歴史的にたどる。

[他に 自然科学図書館2F開架室 520-2-85]

- 日本全国産業博物館めぐり : 地域の感性を伝える場所 / 武田竜弥編著 PHP研究所 2008
産業に関する資料を系統的に収集・保存・展示する、企業等の博物館を取り上げ、産業史や企業史とともに紹介しています。

[他に 社会科学系図書館書庫 069.021-TA]

- 産業化の歴史と景観 / 木元富夫著 晃洋書房 2004
欧米と日本の産業化のプロセスを概観したあと各地に産業遺産を訪ね、歴史的景観の中でその文化的意義を考察。産業考古学が発祥した欧米と対比させて日本の産業遺産をみるのに適しています。

[社会科学系図書館書庫 602-KI]

現地保存

- 風水害と観光客の増大による世界遺産の劣化と保全 : 紀伊山地の霊場と参詣道を事例として / 山本晴彦編著 農林統計出版 2016

世界遺産、紀伊山地の霊場と参詣道で実際に生じている問題から出発し、災害あるいは観光化によって文化財が損傷する事例を丹念に取り上げている。登録された遺産が指定解除される例も実際にあり、指定後の活用と保全の取り組みの重要性がよく分かる。

[準備中]

- 都市遺産の保存研究 / 宮本雅明著 中央公論美術出版 2012

建築史学の立場から、日本の都市遺産の保存について考察する著者の遺作。城下町、街道、商工、港湾など23地域の都市遺産を歴史的、空間的、景観的特性を通して読み解きます。

[自然科学図書館2F開架室 521-8-352]

- 奈良世界遺産と住民運動 / 石部正志, 杉田義, 浜田博生著 新日本出版社 2000

世界遺産である奈良は同時に、奈良県の一大都市として生活や観光開発の波にさらされ続けています。奈良の自然と文化を守る活動と意義を、住民たちの取り組みから考察しています。

[国際文化学図書館書庫 709-165-I]

- 世界遺産の地域価値創造戦略 : 地域デザインのコンテキスト転換 / 地域デザイン学会編集 ; 原田保, 浅野清彦, 庄司真人編著 芙蓉書房出版 2014

世界遺産を地域振興に活用するための戦略やデザインを日本の遺産12件を取り上げて分析。地域ビジネスの視点で文化資源の活用を提言しています。

[他に 社会科学系図書館開架室 601.1-TI]

文化財の保護

- 文化財政策概論：文化遺産保護の新たな展開に向けて / 川村恒明監修・著；根木昭, 和田勝彦編著 東海大学出版 2002

国、地方公共団体を通じた文化財政策そのものが今日、保存と活用の両面において新たな理念、枠組みを再構築する必要に迫られています。本書は主に政策面から、「文化財保護」の実態を構造的に分析、今後の課題等を検討し、学問体系としての「文化財政策論」の確立を図っています。

[他に 国際文化学図書館開架室 709-1-K]

- 近代古墳保存行政の研究 / 尾谷雅比古著 思文閣出版 2014

近代日本の文化財保存行政について、古墳や陵墓を行政がどのように取り扱ってきたかを明らかにする。近代天皇制など国家の理念や施策を背景に進められてきた文化財行政の歴史の変遷をあとづける。

[人文科学図書館KULiP(ラーニングcommons) 709-1-OTA]

- 陵墓と文化財の近代 / 高木博志著 山川出版社 2010

古墳は天皇制との関わりで一部が陵墓に指定され、一般の文化財保護と切り離されてきた。文化財が近代にどのように取り扱われてきたか、という歴史がそこにあります。なお天皇陵については近年、『「陵墓」を考える：陵墓公開運動の30年』、『天皇陵の解明—閉ざされた「陵墓」古墳』新泉社、などの蓄積があります。

[人文科学図書館KULiP(ラーニングcommons) 210-08-NIH//97]

- 近代日本の史蹟保存事業とアカデミズム / 齋藤智志著 法政大学出版局 2015

近代化の過程で、文化財等がどう認識され、顕彰されてきたのか。歴史学や考古学の発展が、国家ならびに地域レベルでナショナリズム発揚やアイデンティティ形成に寄与した実態を明らかにし、同時に史蹟保存運動の政治的・文化的・学術的意味を問うています。

[他に 国際文化学図書館開架室 709-1-S]

- 遺跡をさぐり、しらべ、いかす：奈文研六〇年の軌跡と展望 / 国立文化財機構奈良文化財研究所編 クバプロ 2013

奈良文化財研究所の60年の調査研究成果を紹介する講演会記録。遺跡を発掘するだけでなく、いかに歴史を明らかにし、後世に伝えていくか、という課題への取り組みを示します。

[人文科学図書館KULiP(ラーニングcommons) 202-5-KOK]

- 遺跡保護行政とその担い手 / 須田英一著 同成社 2014

近現代において遺跡保護に携わった人々をとりあげ、地域社会や文化財政策の歴史と絡めて紹介し、遺跡保護の有り様について考えます。

[人文科学図書館KULiP(ラーニングcommons) 709-1-SUD]

- 失われた北川湿地：なぜ奇跡の谷戸は埋められたのか? / 三浦・三戸自然環境保全連絡会編 サイエントリスト社 2015

昆虫や植物の希少種が多く存在した、神奈川県最大規模の湿地が所有者により埋め立てられた際の、中止を求めた活動の記録。環境破壊反対の単なる主張では無く、自然保護のエコパーク構想をも提示している。

[人文科学図書館KULiP(ラーニングcommons) 519-813-MIU]

- 遺跡保護の制度と行政 / 和田勝彦著 同成社 2015
文化庁で行政実務に携わった著者が、遺跡保護行政の歴史と制度、法解釈を詳しく解説しています。各種関連統計・委員会資料、法令、判例等も収録し、実務にも役立つ書。
[人文科学図書館KULiP(ラーニングcommons) 709-1-WAD]

- ナチスと自然保護：景観美・アウトバーン・森林と狩猟 / フランク・ユケッター著；和田佐規子訳 築地書館 2015
工業化と都市化が急速に進んだドイツで、自然の荒廃に立ち向かった人びとは、ヨーロッパで先進・画期的な法律とされる帝国自然保護法を勝ち取ります。ドイツ自然保護思想・運動のルーツをたんねんに辿り、ナチス時代の自然保護の実像を明らかにしています。
[国際文化学図書館開架室 519-834-U など]

- 歴史(れきし)のなかの天皇陵(てんのうりょう) / 高木博志, 山田邦和編 思文閣出版 2010
天皇陵がどのように比定され取り扱われてきたか、歴史学の立場から考察しています。
[国際文化学図書館開架室 288-46-T など]

地域振興と文化資源

- 地域コミュニティ再生とエコミュージアム / 深見聡著 青山社 2007
協働社会のまちづくりを、地域コミュニティ論やエコミュージアムという仕組みに立脚して論じています。生涯学習活動の具体事例をとおして、地域住民が地域を見つめ直すこと、またNPOが果たす役割と課題を検討しています。
[人文科学図書館KULiP(ラーニングcommons) 601-1-HUK]
- 地域おこしと文化財 / 笹本正治著 ほおずき書籍 2004
文化財を地域おこしにどう役立てるかを、著者のフィールドである長野の博物館活動、まちづくりの事例から考察しています。
[人文科学図書館KULiP(ラーニングcommons) 601-152-SAS]
- “まち”と“ミュージアム”の文化が結ぶ幸せなたち：博学社連携フォーラム・博学社連携シンポジウム報告書 / [京都文化博物館学習普及外部連携室編集] 京都文化博物館地域共働事業実行委員会 2015
博物館と地域が連携した活動はどうあるべきか。京都の様々な事例から考える報告集。町づくり、町並み保存などに関わる例も豊富です。
[人文科学図書館KULiP(ラーニングcommons) 069-021-MAT]
- 文化財の価値を評価する：景観・観光・まちづくり / 垣内恵美子編著；岩本博幸 [ほか] 著 水曜社 2011
文化財を継続的に維持、保存させるには、地域での便益の種類や受益者を特定し、適切で持続的なシステムを構築する必要がある。観光や地域振興との関わりから、文化財の価値を評価する方法を探っています。
[国際文化学図書館開架室 709-1-K]
- 歴史ある建物の活かし方：全国各地119の活用事例ガイド / 清水真一 [ほか] 編 学芸出版社 1999
建造物の活用例を継続、転用、大規模再開発、地域的活用などに分け、見開き一項目で紹介。保存活用の基本的な考え方もまとめる。
[自然科学図書館2F開架室 521-8-158//C]

- 都市保全計画：歴史・文化・自然を活かしたまちづくり / 西村幸夫著 東京大学出版会 2004
都市の保全を、歴史的環境の保全という観点から検討。歴史、制度、技法、実践例までを扱い、諸外国の事例も紹介しています。
[国際文化学図書館開架室 518-8-N など]
- 歴史都市の破壊と保全・再生：世界のメトロポリスに見る景観保全のまちづくり / アンソニー・M・タン著；世界都市保全研究会訳 海路書院 2006
ニューヨークで景観の保存に携わった著者が、世界のメトロポリス取材し、歴史の積み重ねられてきた都市文化財の破壊と再生を明らかにしています。
[国際文化学図書館開架室 518-8-T など]
- 未来の景を育てる挑戦：地域づくりと文化的景観の保全 / 日本建築学会編 技報堂出版 2011
文化的景観の保護と、風景の維持継承、住民生活のバランスをどうとすべきか。国内外の事例を紹介し、保全活動の課題と地域づくりへの論点をまとめています。
[国際文化学図書館開架室 709-0-N]
- 景観形成と地域コミュニティ：地域資本を増やす景観政策 / 鳥越皓之, 家中茂, 藤村美穂著 農山漁村文化協会 2009
地方の立場から、地域の暮らしと個性を生かした景観形成のありかたを各地の実践例から考えています。
[社会科学系図書館開架室 318.7-TO]
- 文化・景観・ツーリズム：イタリア観光再生計画の現在 / ジョヴァンナ・メランドリ著；八木真紀子訳 シーライトパブリッシング 2007
プローディ政権で大臣として働く筆者が、文化・景観・ツーリズムのイタリアンモデルを提示しています。イタリアに関してはほかに『にぎわいを呼ぶイタリアのまちづくり：歴史的景観の再生と商業政策』なども。
[国際文化学図書館開架室 689-1-M]

災害と景観、文化資源

- 災害と村落 / 日本村落研究学会企画；植田今日子編 農山漁村文化協会 2015
村落という小規模の社会から被災のあり方を眺める本書は、文化資源を直接論じてはいませんが、文化資源を生み出し、守り伝えるコミュニティと災害への対処について考えさせられます。
[他に 社会科学系図書館開架室 361.76-NI-51]